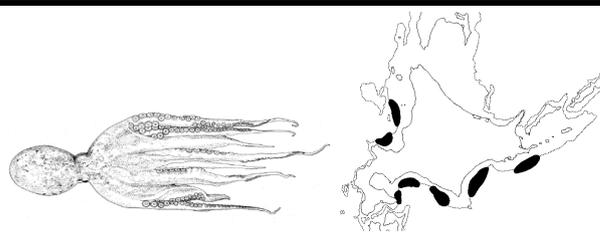


42. ヤナギダコ

主な漁業と漁期
空釣り縄、沖合底びき網、
各種かご、刺し網など：周年



北海道周辺海域

生態

◆分布・回遊

漁獲水深は100～400mですが、稚ダコは水深30m前後に生息しています。季節的な深浅移動をしますが、浮遊幼生期がないため大きな移動はしません。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期：日本海では5～6月で、道東では冬季です。

◎産卵場：日本海では水深120～180m、道東では水深70m前後の岩礁域に形成されます。

◆成長・成熟

年齢・成長はよくわかりませんが、体重7kgくらいまで成長します。

◎成熟体重

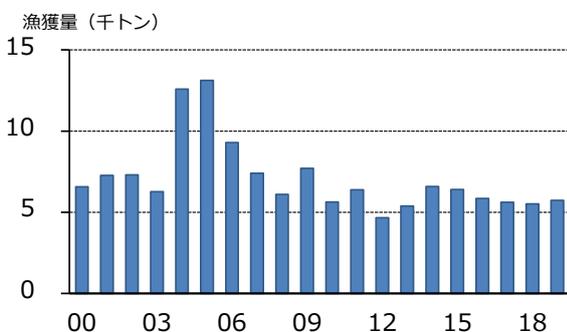
体重3kgから成熟する個体がみられはじめます。繁殖活動はオス・メスとも一生に1度です。

資源評価

[評価年] 9月～翌8月

[資源水準の指標] 漁獲量

2019年度の漁獲量は、5,727トンと、前年と同等でした。2019年度の資源水準は中水準で、翌年にかけての資源動向は、生態的特徴や資源動向に関する知見が少ないことから不明と判断されました。主産地である太平洋海域を中心に、漁獲量はほぼ横ばいで推移しており、各海域とも適度な漁獲強度の下で資源の持続的な利用が図られていると思われませんが、襟裳以西海域は注意が必要な状況にあります。



2019年度
の水準



中水準

2020年度
の動向

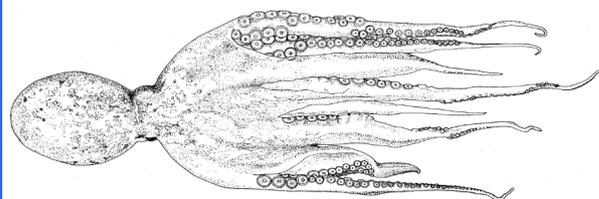


不明

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

許可漁業の許可の制限条件や、漁業権行使規則などで操業期間や漁具の制限等を定めています。



☆資源の有効利用のため、現状の取り組みの継続を図ることが必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 中央水産試験場資源管理部

電話 011-204-5477
電話 0135-23-8707